

～文化財の保護と普及・発信の拠点～

茨城県埋蔵文化財センター「いせきぴあ茨城」

7月26日 一般公開開始!!

施設所在地：城里町大字北方1481 ☎029-289-3300

「いせきぴあ茨城」を見に行こう！
内覧会・体験教室のご案内

●内覧会 ※職員による施設案内

日 時	集 合 時 刻	集 合 場 所
7月26日(火)～28日(木)	午後1時20分	出入口前
30日(土)	午前9時50分、午後1時20分	
8月1日(月)～5日(金)	午後1時20分	
7日(日)	午前9時50分、午後1時20分	

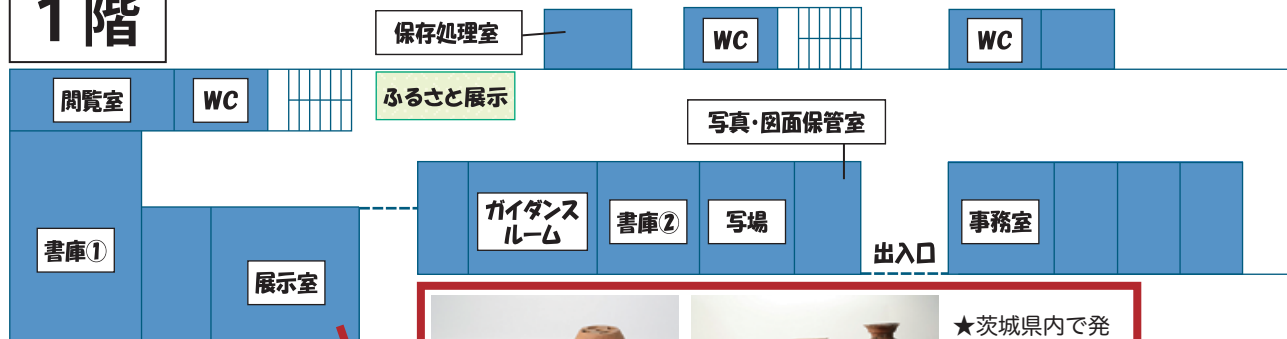
※7月29日(金)、31日(日)、8月6日(土)は開催しません。

●体験教室 (拓本体験)

拓本とは、土器や銅鏡などの文様を和紙に写し取る作業です。
実際の土器や銅鏡のレプリカを用いての体験ができます。



1 階



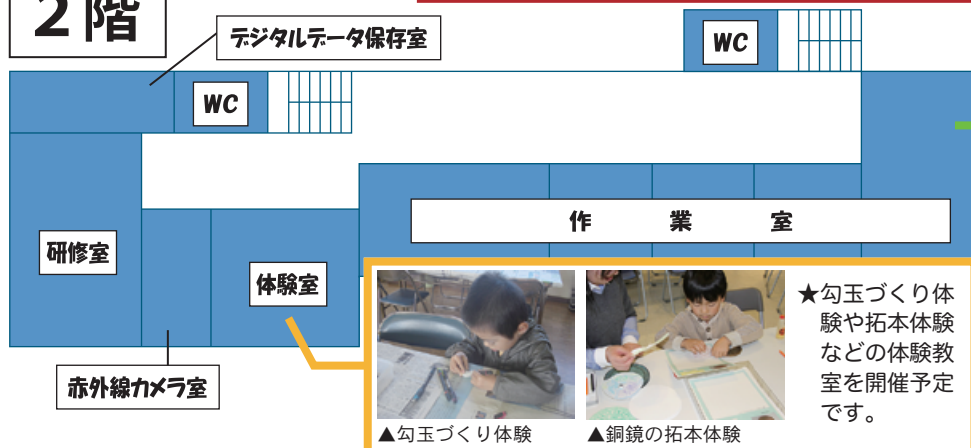
▲宮後東原遺跡発掘土器



▲東田中遺跡発掘土器

★茨城県内で発掘された出土品を展示しています。

2 階



▲勾玉づくり体験



▲銅鏡の拓本体験

★勾玉づくり体験や拓本体験などの体験教室を開催予定です。



▲遺物実測作業

★発掘した出土品の大きさや形を記録し、調査報告書を作成します。

埋蔵文化財センターとは？

茨城県内の遺跡から発掘された出土品を整理し、保管・展示をする施設です。出土品の整理作業や展示を兼ねる施設が開設されるにあたり、城里町では茨城県に対し、一昨年より誘致活動を行い、このたび旧北方小学校跡地で開設されることとなりました。

施設の運営は、県・教育財団・町の三者で行い、出土品の展示や学習事業への展開、歴史や文化財保護への普及・啓発等を積極的に行っていきます。

また、施設に隣接する頓(徳)化原古墳もあわせて整備をすすめ、より歴史を身近に感じられる施設となるように努めていきます。



▲左から 野口 通(公財)茨城県教育財団 理事長、小野寺 俊 茨城県教育長、上遠野町長

組織概要

いせきぴあ茨城

- 茨城県埋蔵文化財センター
- 茨城県教育財団埋蔵文化財整理センター

【いせきぴあ茨城】は、公募によって選ばれた埋蔵文化財センターの愛称です。全国351点の応募作の中から小寺光雄さん(愛知県在住)の作品が採用されました。愛称決定の通知を受け、小寺さんからは「センターが皆様に愛され、親しまれることを願っております」と喜びの声が寄せられました。

職員数内訳 ※()内は城里町民の人数

正職員	6人
期限付職員	7人(2)
整理補助員	52人(18)
計	65人(20)

主な業務内容

- 出土品の整理作業及び報告書の刊行
- 発掘調査成果の研究や広報活動
- 歴史や考古学の体験活動の実施
- 出土品の保管・管理・展示



文様・本質を示す拓本
拓本は、紙と墨を使って土器などの文様や文字を写し取る作業です。土器の特徴や本質を示す、重要な記録手段の一つです。拓本作業を担当する山崎さんは「墨の付け具合で文様の出方が変わる。色むらが出ずに綺麗に文様が浮き出ると嬉しい」と話されています。内覧会にて拓本体験ができます。



▶拓本作業

埋蔵文化財センターでは、20人の城里町民が整理補助員として働いています。整理補助員は、遺跡から出土した土器などの文様を写し取る拓本作業、破損した土器を破損前の形に復元する作業、作成した拓本や土器を基に冊子のページを作る版下作りなどの業務があります。センターで働く町民の方にお話を伺った「拓本作業」、「復元作業」の二つを紹介します。

埋蔵文化財センターのお仕事紹介

出土文化財の復元

土器の復元は、破損してしまった土器を破損前の状態に形作る作業です。出土した土器片を接着剤を使い接合し、土器片が無い欠損部分に石膏を流し込み、補填します。補填した石膏が固まれば、土器と同色で着色し、乾燥すれば完了です。石膏の着色作業を担当する出澤さんは「土器の色合いを出すのが難しい。全く同じ色だと石膏の部分がわからなくなってしまう」と着色の難しさを話していました。



▶復元された土器



▶石膏の着色作業

問合せ

- ★埋蔵文化財センターの業務・展示等について 茨城県埋蔵文化財センター ☎029-289-3300
- ★埋蔵文化財センターの運営について 茨城県教育庁総務企画部文化課 文化財担当 ☎029-301-5449
- ★内覧会について 城里町役場まちづくり戦略課 ☎029-288-3111(内線221)